

## 東京エレクトロン 基本理念

- ▶ 人々の健全で質の高い生活を実現する為に先端分野に於けるトップサプライヤーとして価値の高い技術・サービスを世界に提供
- ▶ 夢のある社会の構築、環境問題の対応に一層のリーダーシップを発揮
- ▶ 使命感を社員全員と共有し、いきいきと輝き夢と活力のある会社

# 身近なところで生活を支える東京エレクトロン

東京エレクトロン(TEL)の技術は、お客さまの製品を通して、高性能化、省エネ化、環境問題の解決に貢献しています。お客さまである半導体・FPD※メーカー各社がつくった製品は、世界中のあらゆるエレクトロニクス製品に組みこまれています。

※ FPD (Flat Panel Display)

フラットパネルディスプレイの略。薄型で平坦な画面を持ったディスプレイの総称。



## TELバリュー

2006年4月に、当社グループの価値観および行動規範となるものを「TELバリュー」として策定しました。「TELバリュー」を世界中のグループ社員と共有し、未来に向けての新たな成長の原動力にしていきます。

## TELバリュー

私たちが大切にしたいこと

### 誇り

私たちは、自らが誇りを持てる高い価値を持った製品・サービスを提供します。

## CONTENTS

東京エレクトロン 基本理念／TEL バリュー	p. 2
編集方針／目次	p. 3
トップコミットメント	p. 4

### ▶ Highlight

世界に広がる事業展開	p. 6
震災復興に向けたアクション	p. 8
宮城新工場の紹介	p. 10

### ▶ Management Report

コーポレート・ガバナンス	p. 12
コンプライアンス	p. 13

### ▶ EHS Report

EHS マネジメント	p. 14
製品における環境への取り組み	p. 16
事業所における環境への取り組み	p. 20
健康・安全への取り組み	p. 24

### ▶ Social Report

お客さま・取引先さまとのかかわり	p. 26
株主・投資家の皆さまとのかかわり	p. 27
社員とのかかわり	p. 28
社会とのコミュニケーション（企業市民活動）	p. 30

第三者所見	p. 32
会社概要	p. 33

### 編集方針

本報告書では、東京エレクトロングループの社会的責任への考えと、地球環境や社会に対する取り組みを報告しています。2010年度は、特集ページをより充実させ（「世界の事業展開」「震災復興」「宮城新工場」）、当社グループの環境・社会活動の特徴がより理解しやすい構成としました。

本報告書を通して、当社グループとかわるすべての方々とのコミュニケーションがさらに充実することにより、より良い今後の活動を目指してまいります。皆さまからの忌憚のないご意見、ご感想を差し込みのアンケート用紙にてお寄せいただければ幸いです。

なお、2010年度の環境会計の結果は当社Webサイトに掲載されます。

 <http://www.tel.co.jp/environment/ehsreport.htm>

### 対象範囲

東京エレクトロングループ  
（東京エレクトロンおよび国内・海外の子会社・関連会社）

### 対象期間

2010年度（2010年4月1日～2011年3月31日）を基本としていますが、一部2011年度の取り組みも含まれます。

### 対象分野

環境、社会、経済的側面

### 参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」  
GRI（Global Reporting Initiative）：  
サステナビリティレポートガイドライン2006



#### チャレンジ

私たちは、世界No.1をめざし、新しいこと、人のやらないことにチャレンジします。

#### オーナーシップ

私たちは、オーナーシップを持って、考え抜き、やり抜き、やり遂げます。

#### チームワーク

私たちは、お互いを認め合い、チームワークを大切にします。

#### 自覚

私たちは、社会の一員としての自覚を持ち、責任のある行動をします。